

「妊産婦と出生児におけるCOVID-19感染流行対策の影響」 についての研究のお知らせ

2018年1月から2021年12月の間に、当院の産科および小児科が、地域行政とともに養育を支援した妊婦さんとそのお子さんを対象とした研究を行っていることをお知らせします。

1. 研究の意義と目的

2019年12月に中国で確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は瞬く間に世界に広がり、日本でも2020年4月に緊急事態宣言が発出され、社会・経済活動の減速、在宅勤務や休校、オンライン授業といった家庭生活の変化を引き起こしました。この変化は妊婦さんにも影響を与え、妊娠中の集団保育指導の中止、帰省分娩の差し控え、立ち合い分娩や入院中の面会制限、分娩前の新型コロナウイルス検査、新生児訪問や乳児検診の縮小・延期などが生じました。この変化により妊婦さんの精神的・身体的ストレスが増え、支援を要する妊婦さんが増加することが懸念されました。そこで、当院の産科および小児科が、地域行政とともに支援した妊婦さんと生まれたお子さんについて、COVID-19感染流行前の2018～2019年と、COVID-19感染流行期の2020～2021年を比較し、妊婦さんと生まれたお子さんにおけるCOVID-19感染流行対策の影響を検討することといたしました。

2. 研究の方法

芳賀赤十字病院産科および小児科で、地域行政とともに養育を支援した妊婦さんとそのお子さんのうち、COVID-19感染流行前の2018年1月～2019年12月に生まれたお子さんをCOVID-19感染流行前、2020年1月～2021年12月に生まれたお子さんをCOVID-19感染流行中として

2つに分け、お子さんとお母さまの診療の記録（カルテ）から以下の事項を調べます。

●お子さんについて

生年月日	性別	出生時週数	出生時体重
最終小児科受診日	出生後の経過		

●妊婦さんについて

生年月日	出産時年齢	帰省分娩の有無	妊婦健診受診状況
出産前後のカンファ レンス開催の有無	配偶者(パートナー) 育児休暇習得の有無	支援が必要となった 理由	

3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたって、妊婦さんとお子さんの診療の記録（カルテ）から得られる情報から住所、名前等が削られ、妊婦さんとお子さん個人が特定できないように符合をつける「匿名化」を行い、鍵のかかるキャビネットに保管致します。妊婦さんとお子さんとの符号とを結びつける対応表は、研究分担者が鍵のかかる別のキャビネットに保管することにより、妊婦さんとお子さん個人の情報を管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによって、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのか分かりません。妊婦さんとお子さん個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となる妊婦さんとお子さんお一人お一人へのご説明は致しませんが、妊婦さんとお子さんの情報

をこの研究に用いられたいとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいてお子さんへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。この研究は2025年12月31日までを予定しており、研究期間終了後は得られた情報を破棄します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 齋藤真理

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323